

広報

となみ

2006
6月号
No.19



庄川と散居に広がる健康フラワー都市
— 花香り、水清く、風さわやかなまち 砺波 —



特集

子育てって 大変なの!?

2ページ

まちづくりの計画	8
イベントレポート	10
ホットな話題	12
市等職員募集	14
議長・副議長選出	15
くらしの情報(くらし・行政)	16
市民カレンダー	20
くらしの情報(講座・教室)	24

砺波総合病院から	29
みんなの健康・健康カレンダー	30
となみの福祉	32
体協だより	36
美術館	37
チューリップ四季彩館	38
図書館	39
イベント情報	40

これはお母さんと
6歳の娘のある日の
会話です。

「わたし、結婚したくないが〜」

「なんで？」

「だって結婚したら子ども産まんなんやろ。子ども育てるが大変そうやもん」

「・・・！（そんな事を言ったこと無いのに、どうして？）」

子育てって大変なの!?

「夕べ、うちの子が熱出してさ〜、一晩中眠れなくて・・・」

人に会えばつい、挨拶のように「子育ては大変」と口にしていませんか？

テレビや新聞などで子育て施策について盛んに取り上げられ、子育ての大変さばかりがクローズアップされています。子どもたちの笑顔は何ものにも代えがたいものです。本当に子育ては大変なことばかりなののでしょうか？

今月号では、子どもを産み育てることに喜びを感じる社会にするには、どうすればいいのかをみなさんと一緒に考えてみたいと思います。





安心して
子どもを産むには

子ども未来財団の調査によると、理想的に持たたい子どもの数に比べ実際の子ども数が少なく、何らかの要因によって、子どもを「持ちたいと思う数ほど持てない」との結果がでています。また一方、子どものいない層では、子どもを持ちたくないと思えた人が未婚・既婚共に3割もいます。では、どのような要因が子供を産むことへのためらいとなっているのでしょうか？

経済的負担

大学まで進んだ場合、一人当たり負担は約2000万円を超えるという数字も出ています。小さい頃からの習い事や塾、そして学費のことを考えるとどうしても理想と現実の子どもの人数は違ってくるようです。

子育てで不安と価値感の変化

育児の体験が少ないので、自分で子どもを産んで育てていく自信がない。価値観や生き方も多様化し、「子どもは可愛い、でも若い間に色々楽しみたい」と考える人が増えてきています。

仕事と育児の両立

女性の社会進出が進み、当市でも女性就業率は70%を超えています。雇用状況により妊娠・退職という職場もまだ多く、仕事を続けられても、育児休暇や子どもの病気・学校行事で休暇が取りにくいという声も聞かれます。

子育て事情 今と昔

ひと昔前までは、お父さんが働き、お母さんは子育てに専念し、地域の皆がそれを支える社会ができていました。

子どもたちは、妹や弟の面倒を見たり、兄や姉の子どもの世話をしたり、赤ちゃんと触れて育ちました。そして自分が子どもを持てば、姑や母の力を借りたり、困った時には隣近所にお願いしたりもできたものです。

ところが近年では少子化、核家族化、都市化が進み、こうした日常風景があまり見られなくなりました。赤ちゃんの可愛さや命の不思議を肌で感じる機会が極端に少なくなり、「初めて抱っこする赤ちゃんは自分の子」というケースも増えていきます。頼りの祖父母世代の協力も得にくく、隣近所の付き合いも昔ほど親密ではありません。

家族が夜遅く仕事から帰ってくるまで、家には赤ちゃんと自分だけ。そんな毎日を送っている人も少なくありません。

今どきのお母さん

今まで子育てを行ってきた中高年齢層の方の中には「家事も育児も昔と比べて格段に楽になっている。それなのに子育てが辛いというのは、今の親は

わがままではないか。権利ばかり主張して、親としてやるべき事をやっているのだろうか。」という意見もあるようです。これには賛否両論があると思いますが、子育ての社会環境が大きく変わり、昔とは違った大変さを今のお母さんは負っているともいえるのでは

ないでしょうか？
地味であってもどっしりと落ち着いていたかつての母親像を求めるのではなく、弱さや不完全さをも含めて、そのお母さんなりの頑張りを認め、支援の手を差し伸べることが必要となっています。

子育て体験を行う
中学生や高校生

中学校では、14歳の挑戦の中で保育所や幼稚園での子育て体験を行う子供たちが増えていきます。また、砺波高校や砺波工業高校では、小さい者へのいたわりの気持ちや生命の大切さなどを生徒達に体験してもらうため、保育実習を授業に取り入れています。生徒達は、小さな子どもに触れながら、自分が役に立っていることを実感し、自分を好きになっていく。そして、自分を肯定できれば他者に対しても優しくなれ、優しい親になっていきます。お父さん、お母さん、みんなに子育ての体験を分かち合わせてあげてください。

生徒の声

「子どもと触れ合っるととても楽しい気持ちになった。子どもはいつも笑顔で、自分も自然に笑顔になれた」「子どもっておとなしいと思っていたけど、とても活発で驚いた」

先生の声

「生徒にとって、元気で素直な子どもたちと接することは、現在の自分を見詰め直すいい機会です。自分の成長の軌跡を振り返り、これからの自分を考えるという意味でも、日頃接する機会のない子どもたちとの交流は、大きな意義があります」



子育てに戸惑う

お母さん

最近では、子どもを育てることがおもしろい、楽しい、成長して嬉しいと感じ、その喜びを素直に表現できる親が減って、逆に、育児不安や育児ストレスを抱えている親が増えてきているようです。

中には、育児書どおりにいかないと自分は子育てに向いていないと悲観し、自分を追い詰めるお母さん。なかなか泣きやまない子どもにてこずったり、言うことを聞かないときには、子どもから逃げ出したいという思いにとらわれるお父さんもいます。

母親を対象とした調査では、8〜9割が「子育てを辛く思うことがある」「子どもを可愛く思えないことがある」と答えています。この調査結果に対し、男性の多くは「そんなに多くいるの」と驚きますが、若い母親のほとんどはうなずくとありました。

ただ、この回答では、母親は必ずしも「子育てが辛い」「子どもが可愛くない」といつているわけではありません。「辛いところがある」「可愛く思えない」と答えているのです。



お父さんの子育て



最近では、遠足や参観日など子どもの行事に参加するお父さんもよく見受けられます。子育てに協力的なお父さんが増えてきているようですが、厚生労働省の調査では、父親が育児に費やす時間は1日平均48分（母親は約6時間半）と先進国の2時間に比べ極めて少なく、まだ夫婦一緒に子育てを行う社会にはなっていないようです。



県女性財団が行った調査では、母親の52%が「配偶者にもっと家事・育児を担って欲しい」と考えているのに対し、「自分がもっと担うべき」と考えている父親は33%と、夫婦間で意識の差があることがわかります。「帰宅時間が遅く疲れているのに、その上子育てまでなかなかできないよ」「女性はまだまだしも、男性の育児休業なんて問題外」という考え方もまだまだ一般的のようです。

子育てのイメージ (考えに「近い」と「やや近い」の合計%)

n=対象者総数

	① 子育て層 (n=1244)	② 子どものいない未婚層 (n=416)	③ 子どものいない既婚層 (n=420)	④ 中高生層 (n=420)	⑤ 中高年層 (n=422)
Ⓐ 子育ては楽しい	82.6%	59.6%	66.7%	66.4%	84.2%
Ⓑ 子どもを持つと、生活が豊かになる	52.4%	37.5%	31.2%	36.2%	57.3%
Ⓒ 子どもを持つことで親も成長する	93.3%	90.9%	89.3%	—	94.4%
Ⓓ 子どもを持たない人生は寂しいと思う	60.6%	35.8%	32.8%	50.5%	57.1%
Ⓔ 子どもを持つことは社会的な責務である	33.3%	20.9%	20.9%	23.1%	45.2%

- ① 子育て層 (0歳から高校生までの子どもがいる子育て中の男女)
- ② 子どものいない未婚層 (子どものいない未婚の男女)
- ③ 子どものいない既婚層 (子どものいない既婚の男女)
- ④ 中高生層 (中高生の男女)
- ⑤ 中高年層 (50歳代・60歳代の中高年の男女)



～子ども未来財団調査より～

大変だけど「子育ては楽しい」

では、実際子育てについて、みなさんはどう思っているのでしょうか。子ども未来財団が行った「子育てに関する意識調査」の結果を少しご紹介いたします。(右表)

「子育ては楽しい」と答えた子育て経験者は約8割。「楽しい」イメージ

を持っていない子育て未経験者約4割も、実際に子育てをしてみれば大半が「楽しい」と実感するのではないのでしょうか。

「子どもを持たない人生は寂しいと思う」と答えた子育て未経験者は約3割。個人主義、価値観の多様化の時代とともに、あえて「子を持たない人生」を選択肢のひとつとして多くの人が肯定的に捉えています。一方、実際に子どもを持つ親の約6割は「もし自分に



家庭、地域、社会



ある大学教授は「今の人々はなんでも社会の公共的サービスに頼ってしまう。これは福祉の充実と世間で言われるが、各人が自活能力を一つ一つ失っていく過程でもある」と述べています。自分でできること、社会で支えていくべきことを明確にしながら、お互いに

子どもがいなかったらどんなに寂しいことだろう」と実感しています。また「子どもを持つと生活が豊かになる」と答えた子育て経験者は約半数。ここでは「生活の豊かさ」をどう捉えたかがポイントになります。子育てで経済的な負担は避けられませんし、生活も子ども中心に変わります。それでも豊かになったと実感している人が半数以上いるのです。そして「子どもを持つことで親も成長する」は全体の9割で共通認識といえます。

北部子育て支援センターで
聞きました (6ページ参照)



ここでは、子どもに友達ができたし、母親同士も仲良くなり、心配ごとを聞いてもらったり、悩み事を相談したりしています。年子なので大変ですが、主人の両親と同居しているので助けてもらっています。子どもは日々成長しているなど感じるし、子どもから教えられることもあります。

武田 純子さん、涼花(すずか)ちゃん2歳6ヶ月
夏歩(かほ)ちゃん1歳3ヶ月(西中)



勤めている会社には、きちんと育児休暇制度があります。このほかにも出町保育所のすくすく広場なども利用しています。初めての子で育て方がわからなくて不安もありましたが、ここでは他のお母さんと情報交換もできます。子どもといると毎日が楽しく、子育ての苦労は忘れます。子どもの成長が一番うれしいです。

富田 祐子さん、成音(なおと)くん1歳10ヶ月
(新富町)

高齢児童課児童係
TEL 33-7622-11(内5-1)
FAX 33-7622-2
E-mail:koure@city.tonami.lg.jp

子育てについては年齢や男女等により考え方が違ってきます。そのため、内容については賛否があると思います。みなさんからのご意見を、今後の子育て支援の中に活かしたいと考えていますので、ご意見やご提案をお寄せください。

支えあっていくことが必要です。親や家族はもとより、地域の人々も含め、社会全体で子育てを考えていく必要があります。

ファミリーサポート
センター事業 (7ページ参照)

庄川子育て支援センター内事務局に加え、本年4月からは、北部子育て支援センター内にも新たに設置しました。これにより砺波市全域を対象に、サポートの輪が広がります。



両親の仕事の都合で、ファミリーサポートセンターを利用している庄川町三谷の杉森さん。サポーターの島田留理子さん(写真左上段)が三つ子の兄弟、円香(まどか)ちゃん、美咲(みさき)ちゃん、稜(りょう)くんの子育てのお手伝いをしています。「子どもたちは自分の孫のようにかわいいし、自分も元気をもらっています」と笑顔でお話されました。



子育て応援します! 砺波市の子育て支援



子どもが生まれたら

事業名	内容	問合せ先
出産育児一時金	健康保険の被保険者又はその被扶養者が出産すると子ども一人につき30万円が支給されます。	加入している健康保険組合、 社会保険事務所、市民課 国保年金係(内線136)
児童手当	申請により、小学校第6学年終了前の子供を養育している方に支給されます。支給額は第1子・第2子はそれぞれ月額5千円、第3子以降が月額1万円です。ただし、所得制限があります。(23頁参照)	高齢児童課(内線153) 庄川支所市民福祉課 82-1902
乳幼児医療費助成	乳幼児の入院・通院にかかる医療費について助成を行っています。(23頁参照)	
チャイルドシート購入補助金	チャイルドシートを購入したときに補助金を交付いたします。子ども一人につき適用年齢の違うシートごとに1回のみ補助となります。補助金額は、購入額の3分の1(上限1万円)です。	生活環境課(内線143)
新生児訪問指導	生後28日以内に保健師や助産師が訪問し、育児不安や育児方法について具体的にアドバイスします。	砺波市健康センター 32-7062
乳幼児健診	3か月児、1歳6か月児、3歳6か月児の健診を行っています。また、乳児一般健康診査受診票により、満1歳の誕生日の前まで県内の医療機関において2回無料で健診を受けることができます。	

親子つどいの場

事業名	内容	問合せ先
子育て支援センター	地域の親子同士が触れ合える遊びの場の提供、子育て相談の受付、育児サークル活動の支援、育児講座の開催などを行っています。 北部・太田・東般若(月曜日～金曜日)午前9時30分～11時30分、午後1時～3時・庄川(月曜日～金曜日)午前9時30分～11時30分	各子育て支援センター 北部 33-7515 太田 33-6288 東般若 37-0005 庄川 82-6470
児童厚生施設	児童館などでは、子どもたちに仲間との遊びの場を提供したり、楽しい教室や季節の行事などを企画したりしています。	出町児童センター、東山見・ 青島・雄神・種田児童館
親子ふれ愛塾	4月～2月まで年間10回、3歳までの子どもと親又は祖父母に遊びの体験、触れ合い活動の場を提供し、保護者同士の仲間作りを支援しています。	生涯学習課 82-1904
すくすくひろば	入所していない親子にも保育所・幼稚園を開放し、育児相談、親同士の交流、保育所・幼稚園の子どもとの交流を行っています。(開催日等については、広報となみカレンダー一頁でお知らせします)	各保育所
あそびのひろば		各幼稚園

すくすくひろば 午前9時～11時・個別相談午後1時30分～3時30分

保育所	出町	東部	鷹栖	庄下	油田	東山見	種田	青島	雄神	個別相談	
TEL	32-2776	32-5250	32-3508	32-4147	33-1540	82-3230	82-0305	82-0239	82-3107	各保育所	うち医師参加
6月	7日(水)		6日(火)		8日(木)	27日(火)		13日(火)		お休みです	
7月	5日(水)		4日(火)		6日(木)	25日(火)		11日(火)		20日(木)	油田保
8月	9日(水)		8日(火)		10日(木)	22日(火)		8日(火)		お休みです	
9月	6日(水)		5日(火)		7日(木)	26日(火)		12日(火)		7日(木)	東山見保
10月	11日(水)		10日(火)		12日(木)	24日(火)		17日(火)		19日(木)	青島保
11月	8日(水)		7日(火)		9日(木)	28日(火)		14日(火)		9日(木)	鷹栖保
12月	6日(水)		5日(火)		7日(木)	26日(火)		12日(火)		お休みです	
1月	10日(水)		9日(火)		11日(木)	30日(火)		16日(火)		18日(木)	出町保
2月	7日(水)		6日(火)		8日(木)	27日(火)		13日(火)		15日(木)	東部保
3月	7日(水)		6日(火)		8日(木)	13日(火)		13日(火)		15日(木)	庄下保

※対象者は、未就学児(0～5歳児)とその保護者です。(個別相談日9月以降は予定)



仕事を持つ方には

事業名	内容	問合せ先
出産手当金	出産のために勤務を休み、そのために無給となった場合は、健康保険から1日につき休業前の給料の6割に相当する出産手当金が支給されます。	加入している健康保険組合又は、最寄の社会保険事務所
放課後児童教室	昼間保護者の方が家にいない場合や病気で世話ができない場合に、子どもが放課後に過ごす場所を提供しています。対象は小学校1年生～3年生。1ヶ月4,000円（夏休み8,000円）	東部校下放課後児童クラブ、北部・鷹栖・庄南・南部校下放課後児童教室、東山見チャレンジクラブ

困ったときは

事業名	内容	問合せ先
一時保育	保護者の病気や勤務、冠婚葬祭、育児疲れでリフレッシュしたいときなどに保育所で一時的に子どもを預かります。（毎週月～金曜日・東般若は月～土曜日）午前8時30分～午後4時30分、1日2,000円（昼食あり）、半日1,000円（昼食なし）	油田保育所 33-1540 北部保育所 33-7720 太田保育所 33-6233 東般若保育園 37-0005
ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と提供したい人（協力会員）が会員登録をし、相互に助け合う有償ボランティア会員組織です。センター事務局では依頼会員の依頼に応じて協力会員を仲介します。対象は0歳～6年生。利用料1時間600円	北部子育て支援センター 33-7515または33-7720 庄川子育て支援センター 82-6470
子育て テレフォンサービス	子育てについて電話相談いたします。（毎週水曜日）午前9時～午後4時30分	高齢児童課 33-1120
育児相談	身体計測、発達確認、育児健康相談、栄養相談、保健相談	砺波市健康センター 32-7062
児童相談	しつけ、栄養、教育、発達、学校生活、いじめに関する相談	高齢児童課(内線154)

ひとり親家庭の子供と保護者の方には

事業名	内容	問合せ先
児童扶養手当	離婚や父親が重度の障害を持っている場合などに、子どもを養育する母親等に支給される手当です。	社会福祉課（内線124）
ひとり親家庭等医療助成	ひとり親家庭等の保護者や子どもの医療費について、助成が受けられます。	
母子寡婦福祉貸付金	子どもの修学資金など、様々な資金の貸付制度があります。	

○次世代育成支援行動計画の進捗状況

事業名	計画内容	実施内容
ファミリーサポートセンターの設置	平成18年度までに設置	平成18年度より開始
保育サポーター養成	本計画期間中に100人を養成	順次養成中
放課後児童教室の開設	10人以上の要望があれば随時実施	平成17年10月に南部小学校下で新たに設置
幼稚園の預かり保育の実施	随時内容について検討	平成18年度に五鹿屋・東野尻幼稚園で夏休み期間も開園
民間保育所の設置	本計画期間中に設置を検討	設置に向け協議開始

○園児一人当たりに要する年間の公費負担額

部署	一人当たり公費負担額（H18年度予算）
幼稚園	616千円(348,166千円÷565人)
保育所	878千円(1,244,045千円÷1,417人)



市民のみなさんとともに

砺波市の未来づくりを進めます

現在、砺波市では、これからのまちづくりに向けてその基本的な方向を定める総合計画をつくっています。この計画は、市民のみなさんから寄せられる声に添えて、市政を計画的に展開するためのものです。砺波市を「住んで良かった」と感じられるまちにするためのものです。市民のみなさんの意見が明日の砺波市をつくります。ご意見をお待ちしています。



総合計画をつくるにあたり、次の点に配慮しています。

①市民参画による計画づくり

合併時における市民意識調査をはじめ、「まちづくり研究会」「市長と語る会」「中学生による作文募集」「市長への手紙」などによって届けられた提言やご意見を参考に計画の素案づくりを進めてきました。

②時代の流れをとらえた

砺波市らしい計画づくり

地方分権、少子高齢化、環境循環型社会、安全で安心して暮らせる社会など時代の大きな流れをとらえ、砺波市の魅力や地域性が引き出される

ようにしています。

③総合性が確保され他の計画と調和の取れた計画づくり

総合計画は、最も総合的で基本的な計画です。まちづくりを着実に進め、行財政運営を合理的かつ効率的に進めるための指針とします。

現在、砺波市の置かれている状況は

新砺波市が誕生して以来、

新市まちづくり計画の方針に沿って一体感の醸成と地域の均衡ある発展をめざして今日まで歩んでいます。今後、さらにこのまちづくりが着実に実を結ぶよう計画を総合的に

充実させ、変化する諸課題に対応していく必要があります。

まちづくりの基本方針

そこで次のとおり、まちづくりについて各分野からなる5つの基本方針と主要施策を掲げます。

1 笑顔があふれる福祉のまちづくり

① 生涯を通じた心身の健康づくり

健康寿命に配慮した健康教育の推進やかかりつけ医の1層の普及・健康診査・健康相談の充実とともに、健康センター、

(仮称) 庄川健康プラザ、総合病院、診療所による保健、医療の連携体制づくりを進めます。

② 夢や喜びを感じる子育て環境の整備

少子化対策として、保育サービス等の充実や雇用環境整備に向けた啓発活動に取り組みとともに、不妊治療や乳幼児の医療費など経済的負担の軽減を図ります。また、保育所、幼稚園の総合施設化など施設環境の充実を図ります。

③ 長寿社会にふさわしい高齢者保健福祉の充実

高齢化が進みます進むことから、地域の見守り活動など高齢者が安心して生きがいを

④ 自立を支援する障害者(児)福祉の充実

障害者が、サービスを自ら選択し適切に利用できるよう支援サービスの調整機能を強化するとともに、就労や地域活動などへの参加を促し、障害者(児)の自立した生活に向けた環境づくりに努めます。

⑤ みんなで支えあう福祉活動の推進

市民、NPO、ボランティア

ア団体など地域社会全体で福祉活動を支えあう地域づくりを進めるとともに、国民健康保険、介護保険、老人保健医療などの保険・医療制度の健全な運営に努めます。

2 「人」と「心」を育むまちづくり

1 個性を伸ばし豊かな感性を育む教育の充実

基礎学力の向上や基本的な生活習慣など生きる力を育む教育を推進するとともに、学校施設の耐震化や施設整備など安全な教育環境づくりに努めます。

2 人間力を高める人づくりの推進

家庭教育力の向上に力を注ぎ、「家庭」「地域」「学校」「行政」が連携して子どもを育てる体制づくりを進めます。

3 自由楽しく学ぶ生涯学習の推進

地域に根ざした公民館活動、生涯学習活動の充実を図るとともに、(仮称)生涯学習センターの整備など文化、学習活動の環境整備を進めます。

4 芸術・文化活動の振興と伝統文化の継承

市民が主体的に芸術や美術に慣れ親しむ環境づくりを進

め、市民の自主的な活動を支援します。また、文化財を保全するとともに市民に活用されるよう施設整備を進めます。

5 健全な心と体を育むスポーツの振興

地区体育振興会の設立育成を促し、地域スポーツの振興を図りながら、地域体育館などを活用したスポーツの普及啓発を進めます。

3 庄川と散居に広がる快適なまちづくり

1 清流や散居を活かした景観の整備

宅地開発によって農地の減少が進んでいることや生活様式の変化によって屋敷林が失われつつあり、散居景観を守る取組を進めます。また、水辺空間整備など庄川の親水空間の整備を図ります。

2 環境にやさしい循環型社会の形成

市民の環境問題への関心が高まるなか、自然と共生する環境づくりをはじめ、ごみの減量化、省エネ対策など循環型社会の実現に向けた取組を進めます。

3 機能的な都市基盤の整備

県西部の高速交通網の要衝である利点を生かしながら、

土地区画整理事業など都市基盤の整備を計画的に進め、コンパクトで利便性が高いまちづくりを進めます。

4 快適な居住環境の整備

下水道の整備を計画的に行い、民間住宅との調整を図りながら新たな住宅施策を展開します。

5 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

治山治水事業や排水路等の改修、整備など防災基盤の強化を図るとともに、地域自主防災組織の設立を進めます。

4 魅力ある産業が発展するまちづくり

1 確かな基盤づくりと風土を活かした新たな農林業の確立

農地の保全や森林などの生産基盤の整備とともに、担い手の育成、地域資源のブランド化を進めます。

2 時代を先取る産業と伝統産業の振興

交通の要衝地としての立地特性を生かし企業の誘致を推進するとともに、伝統産業など地場産業の支援を行います。

3 にぎわいと魅力ある商店街の振興

集客核施設を生かしたサ-

ビスの展開や安全で歩いて楽しめる商店街づくりを支援します。

4 自然・文化・食が豊富な魅力ある観光の振興

観光資源の活用を図りながら、観光の拠点づくりを進め、情報発信機能を強化し、通年型や滞在型観光の拡大に努めます。

5 安定した魅力ある雇用環境の確立

若者をはじめ市民が安定して職場につける雇用の場の確保と、良好な就労環境づくりを支援します。

5 市民と行政が協働するまちづくり

1 市民と一体となった行政の推進

まちづくりには、市民のみならずの主体的な関わりが必要で、地域コミュニティの支援や男女共同参画推進、団体のネットワークづくりなど市民と協働のまちづくりを進めます。

2 持続可能な行政の運営

厳しい財政環境にあつて多様な行政需要に対応するために、行政改革を推進し効率的な行政運営に努めます。

3 国外、国内との多様な交流の推進

花や緑、川を介した国際交流や国内交流を通じて、若者の交流機会を充実するなど時代に応じた交流を推進します。



みなさんからのご意見をお待ちしています。また、砺波市ホームページに「第1次総合計画(基本構想)素案」を掲載しています。

ご意見は、市長への手紙、(地区集会施設や市の施設に設置してあります。)やEメールなどをご利用ください。

問合せ 企画調整課

☎ 33-1111(内線202)

FAX 33-53255

Eメール

kkaku@city.tonami.lg.jp

4/20

~

5/19



第55回記念に315,000人

～2006となみチューリップフェア～

「花と水」をテーマに、4月21日～5月7日までの17日間、第55回記念2006となみチューリップフェアが開催されました。5月3日には会場内の450品種、100万本のチューリップは満開となり、期間中は31万5千人の入場者で賑わいました。

また、19年ぶりのチューリップナイターには2日間で1万人の人出があり、ライトに照らし出される幻想的なチューリップを楽しみました。

このフェアでは、市民の方など小学生から高齢者まで、のべ2,500人以上のボランティアに会場清掃や催事、運営などをご協力いただきました。ありがとうございました。



花のじゅうたん鮮やかに！

～タピ・ドゥ・フルーとなみ～

4月22・23日の2日間、駅前商店街通りでタピ・ドゥ・フルー（フランス語で「花のじゅうたん」）となみが開催され、色鮮やかな花びらアートが路上を彩りました。商工会議所青年部が中心となる実行委員会で企画し今年で9回目。小中学校の生徒や各種団体のみなさん16チームが参加されました。最優秀賞には、高岡龍谷高校美術部の「みんなでお花見」（下から2番目）が選ばれました。

